

高度な使い方ガイド

AIで自動でデータを判断して取り込む

テンプレートどおりに整えなくても大丈夫です。nancoにまだ登録されていないアイテム情報の列（テンプレートにない列）を含むファイルや、納品書などの写真・PDFをアップロードすると、nancoが自動でAIを使ってファイルを読み取り、どの列がどのアイテム情報にあたるかを判断して取り込みます。見出しの書き方や列の並びがテンプレートと違って、また表の上にタイトルやメモなどの前置きがあっても、AIが表と各列の内容を読み取って提案してくれます。

このページの内容

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 01 進め方を選ぶ（1つずつ / 一気に） | 04 手元のExcelをAIで変換する（AIプロンプト） |
| 02 AIが列ごとに提案してくれること | 05 次のステップ |
| 03 写真・PDFから取り込むとき | |



最新の内容はWebで確認できます

help.nanco.io/manual/ai-import

最終更新 2026年7月14日

nanco — クラウド在庫管理アプリ

🔗 基本のCSVインポートはこちら

テンプレートに沿ったCSV・Excelの取り込み方（列の作り方・nancoIDでの更新・プレビューの見方など）はCSVから在庫データをインポートを参照してください。このページは、そのうち **AIが自動で判断して取り込む** 部分をくわしく説明します。

進め方を選ぶ（1つずつ / 一気に）

AIが読み取りを始めると、はじめに **進め方** を選びます。

- 「**1つずつ確認する**」か「**おすすめ通りで一気に進める**」かを選びます。じっくり確認したいときは「1つずつ」、AIの提案におおむね任せたいときは「一気に」が便利です。
- **列ごとに確認します**。「1つずつ確認する」を選ぶと、AIが読み取った内容を列ごとに提示します。合っていればそのまま、違っていれば直してから進めます。
- 確認が終わったら、通常のインポートと同じ **プレビュー（「データの取り込み」）** に進み、内容を確認めて「**一括登録**」で取り込みます（プレビューの見方はCSVインポートのプレビューを参照）。

すべてのアイテム にデータを追加します

🌟

このデータには、ステンレスやアルミなどのアイテム名と、在庫数が入っています。商品コードやカテゴリもしっかり記されていますね。さらに、仕入価格と製造年月日の情報もあります。このあと、それぞれの取り込み方法をきちんと確認していきますね。3行を読み取りました。

🌟

取り込むデータ列が6件、うち確認が必要なのは2件です。

🌟

どのように進めますか？

おすすめ通りで一気に進める おすすめ

おすすめの設定でまとめて進め、最後にまとめて確認します

1つずつ確認する

確認が必要な列を、ひとつずつ見ていきます

すべてのアイテム にデータを追加します

確認が必要な列を、ひとつずつ見ていきます

1つずつ確認する

🌟

確認 1 / 2 件目

「仕入価格」を価格として取り込みます。どの価格ですか？

例: 1500 / 900 / 80

仕入価格として取り込む おすすめ

既存の「原価」に入れます

販売価格として取り込む

既存の「売価」に入れます

その他の価格として取り込む

販売でも仕入でもない価格（税抜単価など）。「仕入価格」という名前の価格として記録します

別の情報にする

価格ではなかった → アイテム名・在庫数・既存の情報などに変える

AIで自動でデータを判断して取り込む | nanco ヘルプセンター

2 / 4

AIが列ごとに提案してくれること

AIは各列を見て、どのアイテム情報にあたるかとデータの種類（テキスト・数値・日付・セレクトなど。それぞれの意味はこちら）を提案します。「1つつ確認する」を選んだときの確認カードでは、次のような操作ができます。

- **種類を選んで取り込む**：テキスト・数値・セレクト・日付のどれとして取り込むかを選べます（AIのすすめが先頭に出ます）。それぞれの向き・不向きは、電球のマークの「ヒント」で確認できます。
- **別の情報にする**：その列を **アイテム名・在庫数・フォルダ・nancoID** にしたり、**すでにあるアイテム情報** に入れ直したりできます。
- **ことばでAIに指示する**：「数値にして」「産地という選択肢にして」のように文章で伝えると、AIが解釈し直して提案します。納得できるまで何度でも言い直せます。
- **取り込まない**：不要な列は取り込み対象から外せます。

セレクト を選ぶと、その列にある値が **選択肢の候補** として並ぶので、追加・削除して確定できます。**値段（価格）** の列は「**販売価格・仕入価格・その他の価格**」のどれかを選びます（価格の権限がない場合は取り込まず、その旨が案内されます）。値の形がそろっていない列は、AIが「**整形して取り込む**」（全角→半角、単位を除いて数値化、日付を yyyy/mm/dd にそろえる など）を提案します。JANコードや商品コードの列は、AIでは **テキスト** として取り込まれます。**バーコード** として記録したいときは、テンプレートにバーコード列を用意してください（データの種類の説明）。

💡 AIが手間を減らしてくれること

- **前置きの自動スキップ**：表の上にタイトルや空行があっても、AIが本当の見出し行を見つけて読み飛ばします。
- **アイテム名の確認**：どの列が名前か曖昧なときだけ確認します。はっきりしているときは聞きません。
- **フォルダを浅くする提案**：フォルダの階層が深くなりすぎるとき、いちばん深い段（例：「棚A > 段3」の「段3」）を **アイテム情報** に変えて、フォルダを浅くする提案をします。
- **前回と同じ形式の再利用**：以前と同じ形のファイルは、前回の取り込み方をそのまま使うか選べます。

確認が終わると **最後の対応表** が表示され、「**取り込む列**」「**新しく作るアイテム情報：○件**」「**自動で直すところ**」「**追加される選択肢**」をまとめて見直せます。アイテム名が空の行など取り込まれない行があるときは「**注意**」として知らせてくれます。「**この内容で次へ進む**」を押すと、いつものプレビュー（「取り込むデータを選択してください」）に進みます。うまく読み取れないときは「**AIを使わずに進める**」で通常の手続き（画面の案内に沿って進む形式）に切り替えられます。

写真・PDFから取り込むとき

写真やPDFは、AIが書類の **明細表** と **取引先名・伝票番号・日付** などを読み取ってデータ化します。読み取れるのは **1ファイルあたり最大2,000行・50列**、PDFは **先頭4ページ** までです。うまく読み取れないときは、**明るく正面から撮り直す**と精度が上がります。読み取ったあとは、通常のプレビューで内容を確認してから取り込みます。

📄 AIの読み取りとプライバシー

アップロード画面には「**テンプレートに合わないファイルや写真・PDFはAI（外部の言語モデル）で読み取ります（データは学習に使われません）**」と表示されます。読み取りに使われたデータが **AIの学習に使われることはありません**。

列数や文字数が非常に多いファイル（**列数が300を超える**、または全体の文字数が非常に多い場合）は「**AI解析をスキップしました**」となり、AIを使わずに通常の手続きで取り込みます。この場合は、テンプレートに沿った見出しに整えてからアップロードするとスムーズです。

iPhoneの写真（HEIC形式）は今は読み取れません。写真アプリで「**JPEG**」として**保存し直す**か、スクリーンショットを撮ってアップロードしてください。

手元のExcelをAIで変換する（AIプロンプト）

ここまでは nanco が **取り込み時に自動で** AIを使う仕組みですが、**アップロードする前に自分で** ファイルを整えておきたいときは「**AIプロンプト**」が便利です。ChatGPTやClaudeなどお使いのAIで、手元のExcelやCSVをnanco向けの形式に変換できます。次の手順で使います。

1 「AIプロンプト」から変換ルールをコピー

アップロード画面の「**AIプロンプト**」を押すと、AIへの変換ルール（プロンプト）が表示されます。これをコピーします。

2 AIに手元のファイルといっしょに渡す

ChatGPTやClaudeなどのAIに、コピーした変換ルールと手元のファイルをいっしょに渡します。nancoに取り込める形式に整えたファイルが返ってきます。

3 整ったファイルを取り込む

返ってきたファイルを保存し、「**一括アイテム登録**」から取り込みます（取り込みの流れはCSVから在庫データをインポートを参照）。

次のステップ

AIで取り込んだあとは、nancoIDでの一括更新やプレビューの見方もあわせて確認しておくと、次回からの取り込みがスムーズになります。続けて、**メンバー管理**と**権限設定**でチームでの在庫管理を整えましょう。
AIでの取り込みを含むデータ移行の全体像は、**在庫データ移行の紹介ページ**にまとめています。